

■ 概要

- ・医療用医薬品における薬物動態情報を登録したデータベースです。

■ 特徴・機能

- ・主にインタビューフォームや添付文書の【血中濃度の推移・測定法】【薬物速度論的パラメータ】【吸収】【分布】【代謝】【排泄】をもとに登録しています（一部海外文献の情報も使用）。
- ・腎排泄型や肝消失型の判定項目を搭載しています。
- ・項目の参照・グラフ表示が可能となっており、同種同効薬など異なる成分間における薬物動態情報の比較が可能です。

■ 目的・利用場面

- ・薬物動態の情報を活かした処方監査や服薬指導の参考情報などとしてご利用いただけます。
- ・同種同効薬で薬物動態情報を比較することで、治療薬の選択や代替薬の提案などにご利用いただけます。

■データの表示例

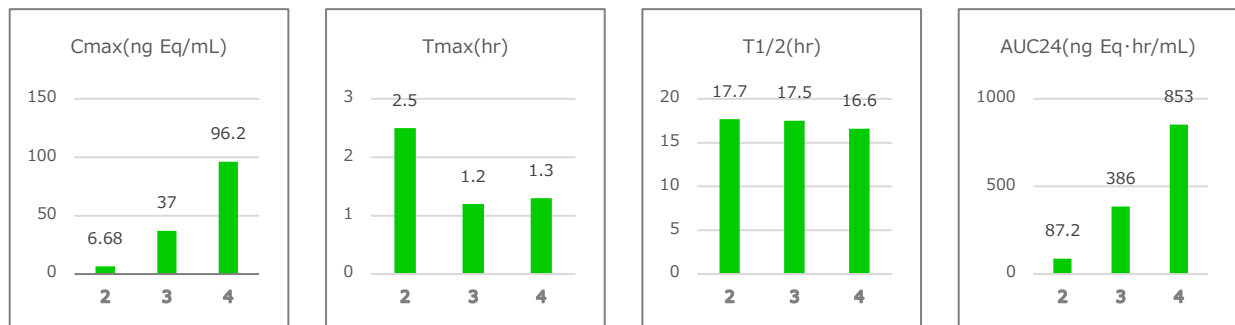
『リピート錠10mg』のインタビューフォーム（抜粋）

肝機能正常被験者及び肝硬変患者に10mgを1日1回、14日間反復経口投与したときの14日目の血漿中活性体の薬動力学パラメータ			
薬動力学パラメータ	肝機能正常被験者 (8例の平均値±標準偏差)	肝硬変患者	
		軽度 (5例の平均値±標準偏差)	中度 (3例の平均値±標準偏差)
Cmax (ng eq/mL)	6.68±4.10	37.0±25.6	96.2±30.1
Tmax (h)	2.5±1.1	1.2±0.4	1.3±0.6
AUC _{0-24h} (ng eq・h/mL)	87.2±59.6	386±199	853±426
半減期 (h)	17.7±13.3	17.5±8.9 ¹⁾	16.6±2.17

血中濃度テーブルの表示例

試験					血中パラメータ						
連番	試験区分	対象群フラグ	試験方法	肝機能情報	測定物質	測定区分	Cmax	Tmax	T1/2	AUC	AUC区分
1	一般	—	〈国内〉健康成人に錠剤10mgを絶食下单回経口投与(n=6)	—	アトルバスタチン	未変化体	3.42ng/mL	0.8hr	9.44hr	34.57ng・hr/mL	AUC ∞
					M-2	活性代謝物	1.39ng/mL	6.2hr	8hr	19.23ng・hr/mL	AUC ∞
2	肝障害	1	〈外国〉肝機能正常被験者に錠剤10mgを1日1回14日間反復経口投与(n=8)	—	血漿中活性体	活性代謝物	6.68ng Eq/mL	2.5hr	17.7hr	87.2ng Eq・hr/mL	AUC24
3	肝障害	—	〈外国〉軽度肝硬変患者に錠剤10mgを1日1回14日間反復経口投与(n=5)	Child-Pugh分類:GradeA	血漿中活性体	活性代謝物	37ng Eq/mL	1.2hr	17.5hr	386ng Eq・hr/mL	AUC24
4	肝障害	—	〈外国〉中度肝硬変患者に錠剤10mgを1日1回14日間反復経口投与(n=3)	Child-Pugh分類:GradeB	血漿中活性体	活性代謝物	96.2ng Eq/mL	1.3hr	16.6hr	853ng Eq・hr/mL	AUC24

グラフ表示例



『ザイロリック錠50』速度論的パラメータテーブルの表示例

測定物質	アロプリノール				オキシプリノール			
測定物質区分	未変化体				活性代謝物			
バイオアベイラビリティ	67～90	%	ヒト(外国)	インタビューフォーム /添付文書	—	—	—	—
全身クリアランス	9.62	mL/kg	ヒト(外国)	インタビューフォーム /添付文書	—	—	—	—
分布容積	1.61	L/kg	ヒト(外国)	インタビューフォーム /添付文書	—	—	—	—
たんぱく結合率	0	%	不明	インタビューフォーム /添付文書	0	%	不明	インタビューフォーム /添付文書

『ザイロリック錠50』吸収・分布テーブルの表示例

吸収情報	吸収部位：消化管
血液脳関門通過性情報 (ヒト)	(外国人による成績) 通過する。5-FU及び放射線療法を受けた転移性脳腫瘍の男性患者3名にアロプリノールを1日300 (n=1)、 900mg (n=2) 投与した場合、アロプリノールの脳脊髄液への移行率は、120%、85%、23%であった。 代謝物であるオキシプリノールは24%、30%、33%であった。
血液脳関門通過性情報 (ヒト以外)	—
乳汁への移行性情報	(外国人による成績) 移行する。高尿酸血症の授乳婦に本剤の通常量 (300mg/日) を4週間経口投与し、アロプリノール及びオキシプリノールの 母乳中濃度を測定したところ、投与後4時間の母乳中の濃度はそれぞれ1.4µg/mL、48.0µg/mLであった。
乳汁への移行性情報 (ヒト以外)	—

『ザイロリック錠50』 活性代謝物テーブルの表示例

活性代謝物	オキシブリノール
-------	----------

『ザイロリック錠50』 代謝テーブルの表示例

代謝関連物質名称	キサンチンオキシダーゼ
基質・阻害・誘導	基質
種別	主な代謝酵素
文献	インタビューフォーム /添付文書

『ザイロリック錠50』 排泄テーブルの表示例

尿中活性体排泄率	71～95.3%
尿中活性体排泄率の計算式・引用元	経口時の尿中排泄率76%× (未変化体割合10.4%+活性代謝物オキシブリノール割合73.6%) ÷BA 0.67～0.9【すべて添付文書/IF】
排泄情報	—
肝腎排泄型	腎排泄型

『肝腎排泄型』

肝腎排泄型は、尿中活性体排泄率を基に、以下の基準で判定しております。

1. 腎排泄型（尿中活性体排泄率:60～100%）
2. 腎排泄型・肝消失型（尿中活性体排泄率:40～59%）
3. 肝消失型（尿中活性体排泄率:0～39%）
4. 該当なし（吸収されない場合のみ）
5. 不明（情報が無い場合）